資料2-5

第22回 丹生ダム建設事業中止に伴う地域整備協議会

実施計画に係る事業進捗状況

令和８年１１月１３日

長浜市未来創造部北部政策局

余呉地域振興の取り組み状況

①ウッディパル余呉の活用



○小さな拠点
・賤ケ岳戦国ステーション
・中之郷歯科診療所設備整備



○余呉湖周辺
・民間グランピング施設
・芝生広場整備





○残存山林
・余呉の森、妙理の里の活用



②発生土受入地・生きがい農園の活用





①ウッディパル余呉の活用

事業目的

丹生ダム建設事業中止に伴う地域振興において重要な拠点である「ウッディパル余呉」及び「妙理の里」について、将来にわたって安定的、持続的に施設の設置効果を発揮するため、 事業運営手法と施設整備の可能性を検討し、民間活力の導入を進めることで持続可能な施設運営と地域の活性化を図る。

現状の課題

①施設の老朽化に伴う維持管理コストの増大
②社会情勢や市場ニーズ変化による収入減少
⇒①②に対応した持続可能な運営体制の構築

取組の全体像

ウッディパル余呉



妙理の里

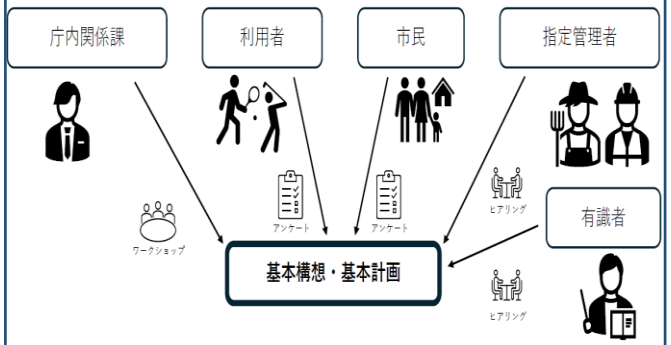


【今後の展開】

指定管理者ヒアリング、サウンディングを通じて市場ニーズを調査し、事業運営手法と施設整備の可能性を検討

R11から民間活力導入により新体制での運営開始

R8推進体制



事業内容	R8	R9	R10	R11～
整備検討業務	市民アンケート　庁内ワーキング サウンディング　有識者ヒアリング 基本計画策定　施設改修概算設計	公募準備	公募募集・実施	
施設修繕・改修	総合案内所・コテージ外壁塗装	コテージ外壁塗装	リニューアルに向けた準備	
運営体制	指定管理（R11.3.31終了）			新たな運営体制

②発生土受入地・生きがい農園施設の活用（６次産業化の推進）

事業目的

丹生ダム建設事業中止後の地域振興事業の一環として、市が所管する「八田部発生土受入地」及び「生きがい農園」について、一体的な活用を行うことで、特産品の6次産業化推進につながる地域産業の振興を図る。

現状の課題

・人口減少により地域内の担い手が不足している。
・地域内に耕作放棄地が増加している。
・丹生ダム建設事業中止後の発生土受入地の活用が課題。
（がけ条例等の規制により、集客や滞在を伴う活用が困難。）

取組の全体像

八田部発生土受入地



R8水資源機構基盤整備

・特産品生産
・担い手育成
・技術実証

生きがい農園

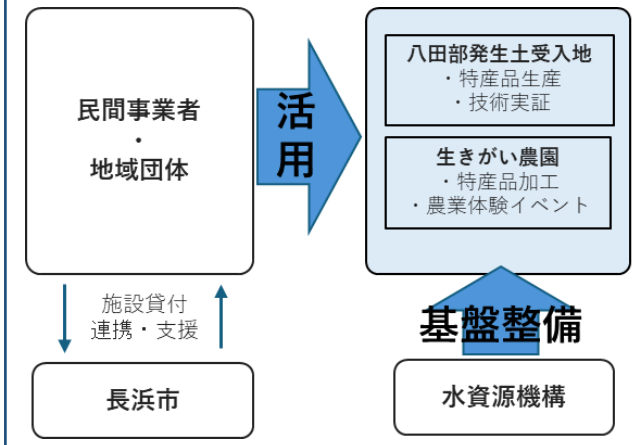


・特産品加工
・特産品販売
・交流事業
(農業体験イベント等)

一体活用＋市支援

・特産品の生産強化
・生産から販売までの工程の地域内化
・栽培技術確立による耕作放棄地活用
・次世代の担い手の育成

R8推進体制



事業内容	R8	R9	R10	R11～
八田部発生土受入地活用	水資源機構による基盤整備	公募型プロポーザルにより民間事業者へ貸付 6次産業化に資する事業に活用		
生きがい農園活用	貸付に向けた準備			
担い手育成 販路開拓等				